



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月22日

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

上場取引所 東

コード番号 4733 URL <https://www.obc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 和田 成史

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 (氏名) 和田 弘子 TEL 03-3342-1881

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	13,831	13.8	6,577	18.1	7,129	20.8	4,877	19.7
2026年3月期第1四半期	12,150	8.2	5,570	7.5	5,902	7.2	4,073	2.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	64.89	—
2026年3月期第1四半期	54.19	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	216,937	168,692	77.8
2026年3月期	220,801	169,376	76.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 168,692百万円 2026年3月期 169,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	53.00	—	58.00	111.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		65.00	—	65.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	27,619	10.8	12,479	11.8	13,254	11.0	9,074	9.7	120.70
通期	57,500	11.9	26,500	12.4	28,260	12.1	19,350	6.7	257.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	75,404,000株	2026年3月期	75,404,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	227,297株	2026年3月期	227,297株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	75,176,703株	2026年3月期1Q	75,175,721株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
3. 補足説明	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う金融市場の変動や物価上昇が継続し、先行き不透明な状況が続きました。

当社の属する情報サービス産業においては、サイバー攻撃の高度化や情報漏えいリスクの高まりを背景に、情報セキュリティ強化への関心が一層高まっております。また、企業の業務効率化やDX推進に向けたクラウドサービスの活用に加え、AI技術を活用した付加価値の高いサービスへの需要も引き続き拡大しております。

このような状況の中、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、「業務にイノベーションをお客様に感動を」をミッションとして掲げ、クラウド・AI技術などの先進テクノロジーの活用と情報セキュリティの強化を通じて、お客様の業務効率化と安全・安心な事業運営の実現に取り組んでまいりました。また、「ランサムウェアからの安全宣言」を発表するなど、企業の重要な基幹業務データの保護と事業継続を支援するクラウドサービスの強化に努め、パートナー様との連携強化を通じて、国内中堅・中小企業におけるAX(AIトランスフォーメーション)の実現を支援してまいりました。

営業活動においては、「パートナーカンファレンス2026」を全国13会場で開催し、お客様の事業継続を支えるセキュリティ対策やAIを活用した業務効率化の実現に向けた提案手法をご紹介するとともに、パートナー様と共に推進したい取り組みについてご提案を行ってまいりました。

製品・サービスにおいては、企業の基幹業務データを保護し、事業継続を支援するセキュリティ対策の強化に取り組んでまいりました。また、「奉行Edge 勤怠管理クラウド」において、就業規則に沿った勤怠申請書をAIが自動作成する「申請AIアシスタント」の提供を開始するなど、AIを活用した業務効率化支援を推進してまいりました。

このような活動の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高138億31百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益65億77百万円（同18.1%増）、経常利益71億29百万円（同20.8%増）、四半期純利益48億77百万円（同19.7%増）となりました。

売上高が同13.8%、営業利益が同18.1%、経常利益が同20.8%、四半期純利益が同19.7%それぞれ増加した主要因は、クラウドサービス収益の増加による安定的な売上増加およびオンプレミス製品（奉行11シリーズ）のサポート終了を見据えたクラウド移行需要の高まり並びに新規顧客獲得に向けた営業活動に注力してきた成果によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,295億98百万円となり、前事業年度末に比べ25億48百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が17億57百万円、売掛金が8億91百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は873億39百万円となり、前事業年度末に比べ13億15百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が11億56百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,169億37百万円となり、前事業年度末に比べ38億63百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は418億52百万円となり、前事業年度末に比べ28億61百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が15億51百万円、前受収益が12億73百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は63億92百万円となり、前事業年度末に比べ3億17百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が3億76百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は482億45百万円となり、前事業年度末に比べ31億78百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,686億92百万円となり、前事業年度末に比べ6億84百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が5億17百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12億2百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.8%（前事業年度末は76.7%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,144億95百万円となり、前事業年度末と比較して17億57百万円の減少となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、32億75百万円(前年同期は10億49百万円の収入)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益71億30百万円、売上債権の減少額8億44百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額34億87百万円、前受収益の減少額12億73百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億72百万円(前年同期は4億14百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出6億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、43億60百万円(前年同期は37億59百万円の支出)となりました。要因は、配当金の支払額43億60百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年4月21日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	116,252,591	114,495,294
受取手形及び電子記録債権	3,712,450	3,759,162
売掛金	11,127,911	10,236,355
商品及び製品	55,935	56,583
仕掛品	314	485
原材料及び貯蔵品	7,054	5,673
前払費用	814,436	817,423
未収入金	18,018	19,009
その他	164,413	224,244
貸倒引当金	△5,933	△15,566
流動資産合計	132,147,192	129,598,666
固定資産		
有形固定資産	1,322,846	1,288,982
無形固定資産	1,989,441	1,873,858
投資その他の資産		
投資有価証券	34,254,393	33,098,129
関係会社株式	9,196	—
敷金及び保証金	1,050,846	1,050,527
会員権	27,980	27,980
長期預金	50,000,000	50,000,000
長期末収入金	46,465	45,765
破産更生債権等	2,176	1,123
貸倒引当金	△48,992	△47,239
投資その他の資産合計	85,342,065	84,176,287
固定資産合計	88,654,354	87,339,128
資産合計	220,801,546	216,937,794

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	401,467	339,047
未払金	2,393,456	1,601,689
未払費用	1,454,004	1,976,499
未払法人税等	3,681,608	2,130,551
未払消費税等	756,261	981,117
預り金	148,879	212,757
前受収益	35,819,906	34,546,463
役員賞与引当金	50,000	50,000
その他	8,978	14,711
流動負債合計	44,714,563	41,852,837
固定負債		
長期未払金	786,693	786,693
繰延税金負債	2,194,862	1,818,066
退職給付引当金	3,332,785	3,392,239
資産除去債務	395,706	395,950
固定負債合計	6,710,047	6,392,949
負債合計	51,424,611	48,245,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,457,761	18,457,761
利益剰余金	126,873,581	127,391,183
自己株式	△220,684	△220,684
株主資本合計	155,629,659	156,147,260
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,747,276	12,544,747
評価・換算差額等合計	13,747,276	12,544,747
純資産合計	169,376,935	168,692,007
負債純資産合計	220,801,546	216,937,794

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	12,150,987	13,831,745
売上原価	1,813,849	2,010,487
売上総利益	10,337,137	11,821,257
販売費及び一般管理費	4,766,725	5,243,893
営業利益	5,570,411	6,577,364
営業外収益		
受取利息	2	218,857
受取配当金	328,519	317,140
投資有価証券売却益	—	13,284
その他	4,092	3,001
営業外収益合計	332,614	552,284
営業外費用		
その他	184	—
営業外費用合計	184	—
経常利益	5,902,841	7,129,648
特別利益		
関係会社株式売却益	—	385
特別利益合計	—	385
特別損失		
固定資産除却損	15,465	—
特別損失合計	15,465	—
税引前四半期純利益	5,887,375	7,130,033
法人税、住民税及び事業税	1,612,252	2,075,992
法人税等調整額	201,394	176,191
法人税等合計	1,813,647	2,252,183
四半期純利益	4,073,728	4,877,850

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,887,375	7,130,033
減価償却費	159,796	217,024
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33,611	59,454
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,200	7,880
受取利息及び受取配当金	△328,522	△535,998
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△13,284
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△385
固定資産除却損	15,465	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,945,741	844,844
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,066	561
前払費用の増減額 (△は増加)	115,532	△2,987
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,917	△62,419
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△89,964	224,855
未払費用の増減額 (△は減少)	477,206	522,494
前受収益の増減額 (△は減少)	△2,521,253	△1,273,442
その他	△678,159	△834,560
小計	4,919,046	6,284,070
利息及び配当金の受取額	328,522	479,507
法人税等の支払額	△4,197,895	△3,487,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,049,673	3,275,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△600,000
投資有価証券の売却による収入	—	23,111
関係会社株式の売却による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△175,408	△26,363
無形固定資産の取得による支出	△230,453	△70,282
長期未収入金の回収による収入	400	120
敷金及び保証金の差入による支出	△9,000	△316
敷金及び保証金の回収による収入	293	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414,168	△672,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,758,973	△4,360,400
自己株式の取得による支出	△450	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,759,423	△4,360,400
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,123,918	△1,757,296
現金及び現金同等物の期首残高	161,047,982	116,252,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	157,924,063	114,495,294

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足説明

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、ソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおりに開示いたします。

四半期販売の状況

(単位：千円・%)

品 目	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	8,631,398	71.0	10,282,965	74.3	1,651,566	19.1
ソリューションテクノロジー	7,462,498	61.4	9,241,917	66.8	1,779,419	23.8
クラウド	7,273,866	59.9	9,105,459	65.8	1,831,593	25.2
オンプレ	188,631	1.5	136,457	1.0	△52,174	△27.7
関連製品	1,168,900	9.6	1,041,047	7.5	△127,852	△10.9
サービス	3,519,588	29.0	3,548,780	25.7	29,191	0.8
保守	2,998,550	24.7	2,740,224	19.8	△258,326	△8.6
その他サービス	521,038	4.3	808,556	5.9	287,517	55.2
合 計	12,150,987	100.0	13,831,745	100.0	1,680,758	13.8